

CentreCOM[®] LA-ISA V2

取扱説明書・Windows[®]98 編

アライドテレシス(株)

この度は、「CentreCOM LA-ISA V2シリーズ」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を Windows98 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。手順などが正式版のWindows98におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。



注意

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。



注意

各項目の説明は、「LA-ISA-T V2」をもとにしています。「LA-ISA-25T V2」をご使用の場合は、「LA-ISA-T」を「LA-ISA-25T」に読み替えてください。また、どちらか一方にしか適用できない事柄は明記されています。

0 目次

1	Windows98 へのインストール	1
1.1	ドライバディスク	2
1.2	用意するもの	2
1.3	ドライバの新規インストール	2
1.4	インストールの確認とアダプターの設定	4
1.5	ドライバの更新	5
1.6	ドライバの削除	7
1.7	ドライバの再インストール	7
2	ドライバのトラブル	8
2.1	本製品を認識しない	8
2.2	デバイスマネージャで「×」マークが付く	8
2.3	リソース値重複の回避	8
2.4	本製品を Legacy モードで使う	8
3	ネットワークのトラブル	11
3.1	LINK LED は点灯していますか？	11
3.2	LINK LED は点灯しているが...	12

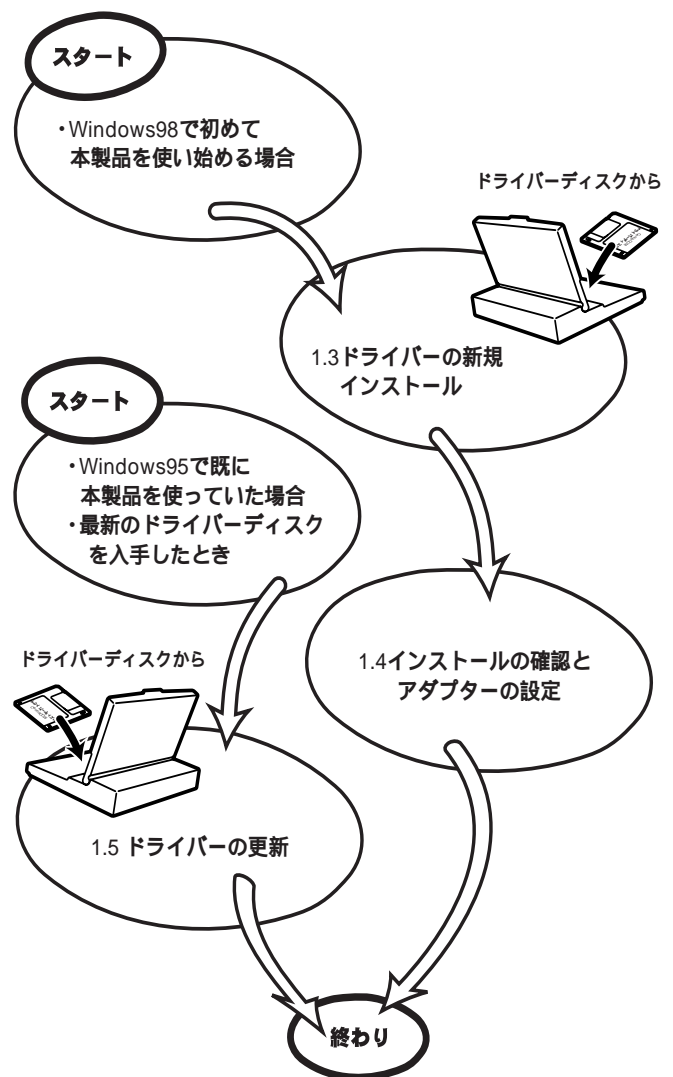


図 1.1

1 Windows98 へのインストール

本製品のドライバを初めて Windows98 にインストールする場合、例えば次にあげるような場合には、「1.3 ドライバの新規インストール」を実行し、その後「1.4 インストールの確認とアダプターの設定」に進んでください。

- Windows98 を新規インストールし、これから本製品のドライバーのインストールを始める。
- プリインストール版 Windows98 へのインストール。
- Windows95 から Windows98 にアップグレードしたが、Windows95 では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める。

Windows95 から Windows98 にアップグレードしたとき、既に Windows95 で本製品を使用していた場合でも、最新のドライバーへの更新をおすすめします。また、弊社のホームページなどから最新のドライバーを入手した場合も更新を実行します。ドライバーの更新をする場合は、「1.5 ドライバーの更新」に進んでください。

1.1 ドライバーディスク

Windows98 にインストールする場合には、本製品に付属のドライバーディスクをご使用ください。

Windows98 用ドライバーは、「¥windows.98」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバーディスクに含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。



注意

¥README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わる情報が記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

1.2 用意するもの

- LA-ISA-T V2 または LA-ISA-25T V2 本体、ネットワークケーブルなど
- コンピュータ(Windows98 インストール済み)
- LA-ISA V2 ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows98 の CD-ROM



警告

Windows98 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1.3 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、本製品に付属のドライバーディスクを使ってインストールします。

- (1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。
- (2) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。
- (3) Windows98 は本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 1.3.1



注意

Windows98 は Plug&play に対応していますので、通常、本製品を自動的に検出します。コンピュータが Plug&Play に対応していない、またどうしても自動的に検出されない場合などは、「2.4 本製品を Legacy モードで使う」を参照してください。

- (4) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

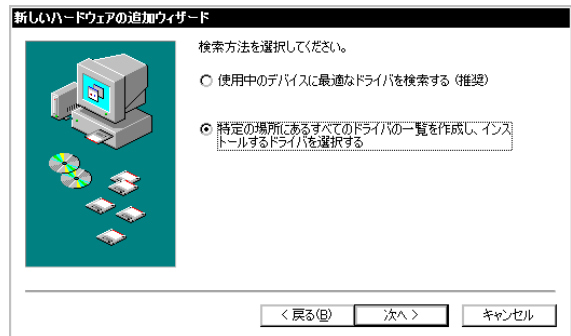


図 1.3.2

- (5) 次のダイアログが表示されます。一覧から「ネットワークアダプタ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 1.3.3

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

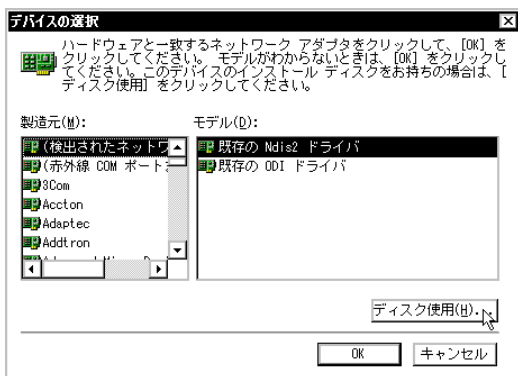


図 1.3.4

- (7) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

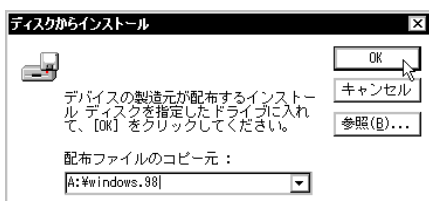


図 1.3.5

- (8) 次のダイアログが表示される場合は、フロッピーディスクドライブにドライバーディスクが正しく挿入されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

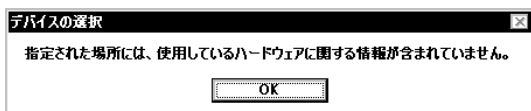


図 1.3.6

- (9) Windows98によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。次のダイアログは閉じ、図1.3.4に戻りますが、図1.3.4が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)。

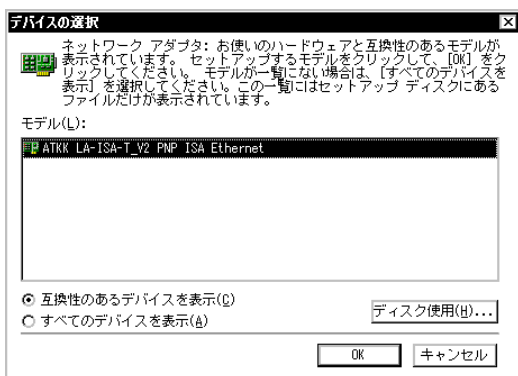


図 1.3.7

- (10) 次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATKK.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

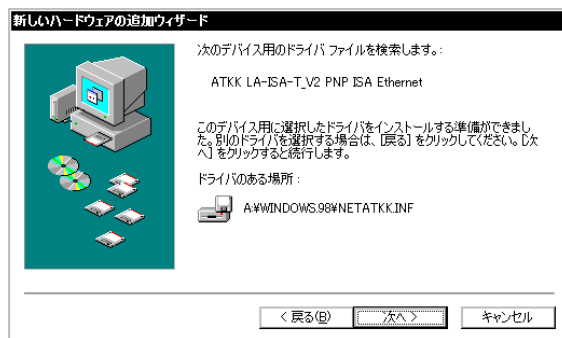


図 1.3.8

- (11) ファイルのコピーが開始されます。

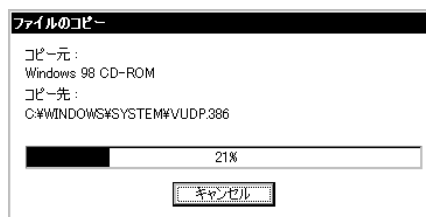


図 1.3.9

コピーの途中で下記のダイアログが現れる場合、CD-ROMがCD-ROMドライブに正しく入っていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

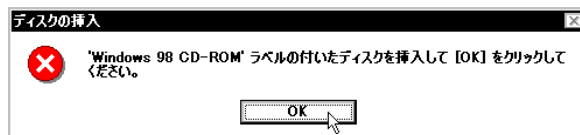


図 1.3.10

次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「A:¥windows.98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「LAISA.DOS」は、ドライバーディスクに入っているファイルです。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。



図 1.3.11

注意 「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー以外のファイルが見つからないと表示された場合は、パスとして「D:¥win98」を入力してください。ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と仮定します。

(12) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 1.3.12

(13) 次のダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

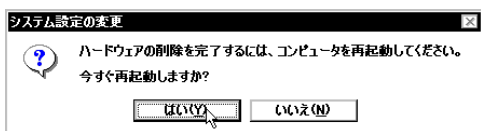


図 1.3.13



注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になっている場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

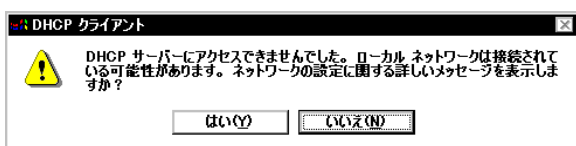


図 1.3.14

(14) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「1.4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

1.4 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 1.4.1

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」が表示されます。



図 1.4.2

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「2 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3) 「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」を選択(反転表示)し、「プロパティ」「全般」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 1.4.3 デバイスの状態

(4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 1.4.4 リソースの確認

2. ネットワークの設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログによって再起動を促されます。再起動後、施した設定が有効になります。設定についての詳細は、システム管理者にご確認ください。



図 1.4.5 ネットワークの設定

- (2) 次に、本製品に関する設定を行います。「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」 「プロパティ」 「ドライバの種類」と進み、「エンハンスモード」(デフォルト)に設定します。

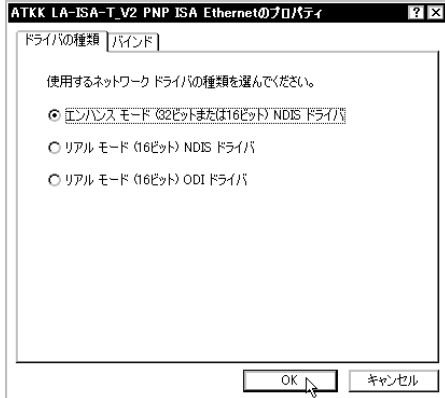


図 1.4.6 ドライバの設定

次の詳細設定タブは、「LA-ISA-25T」を使用している場合にだけ表示されます。「LA-ISA-T」を使用している場合は、ここでアダプターの設定は終了です。

- (3) 「詳細設定」タブでネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。各項目の意味は、次の通りです。

10B-2/T

ネットワークメディアとして、10BASE2(BNC)または10BASE-T(RJ-45 モジュージャック)を使用します。10BASE2 と 10BASE-T は、ケーブル(メディア)を接続することによって自動的に判別されます。ただし、両方のメディアを接続した場合は、10BASE-T が優先されます。

10B-5

ネットワークメディアとして、10BASE5(AUI)を使用します。



図 1.4.7 ネットワークメディアの設定

1.5 ドライバの更新

ドライバーの更新は、本製品の最新ドライバーを入手したときや、Windows95 から Windows98 へアップグレードした場合に実行します。

- (1) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」とどり、「ネットワークアダプタ」の下の「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください(図 1.4.2 参照)。
- (3) 下記のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。



図 1.5.1

- (4) 「次へ」ボタンをクリックしてください。

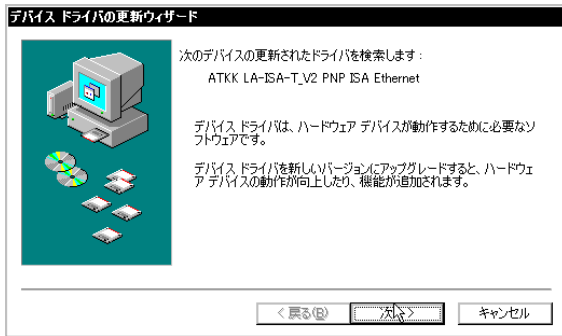


図 1.5.2

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

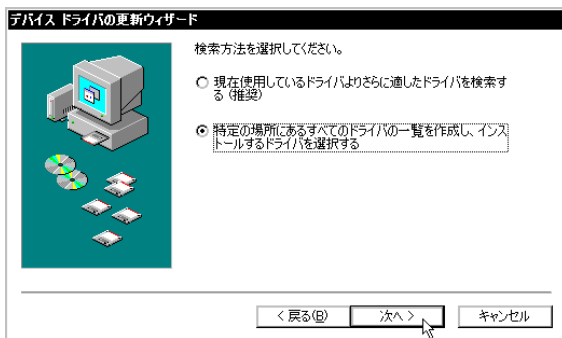


図 1.5.3

- (6) 「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

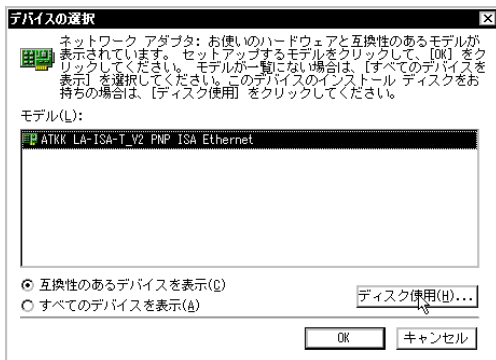


図 1.5.4

- (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

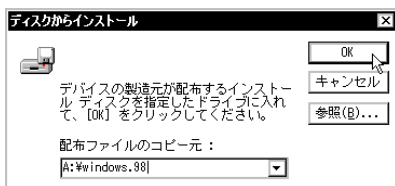


図 1.5.5

- (8) Windows98によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが現れます。「OK」ボタンをクリックしてください。次のダイアログは閉じ、図1.5.4に戻りますが、図1.5.4が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1~2分)。

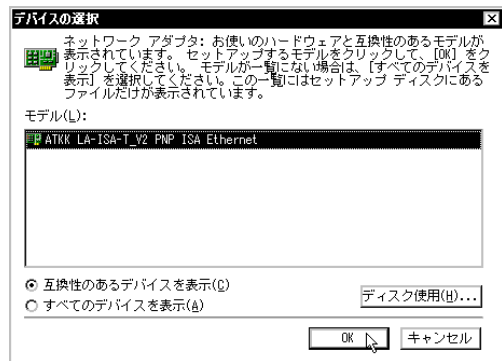


図 1.5.6

- (9) 次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATKK.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

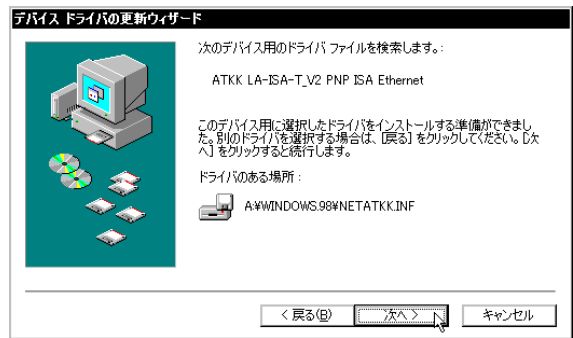


図 1.5.7

- (10) ファイルのコピーが開始されます。

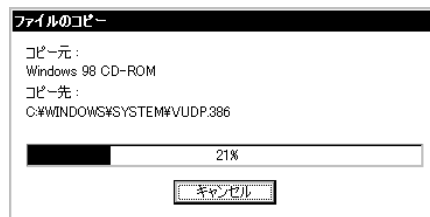


図 1.5.8

- 次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「A:¥windows.98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「LAISA.DOS」は、ドライバーディスクに入っているファイルです。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

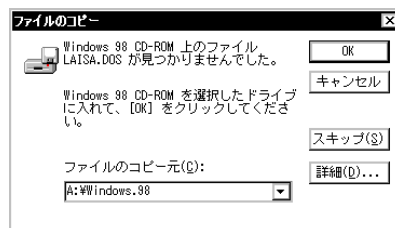


図 1.5.9



注意

「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー以外のファイルが見つからないと表示された場合は、パスとして「D:\win98」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブ名を[D:]と仮定します。

(11) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 1.5.10

(12) 次のダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

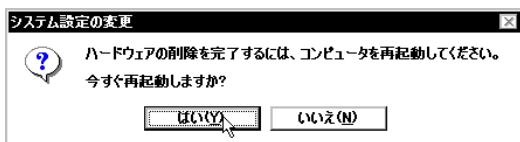


図 1.5.11

1.6 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールは、ドライバーをいったん削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合(本製品のアイコンが、「その他のデバイス」の下に入ってしまった場合など)も、この手順にならい、間違っインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 1.6.1 ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

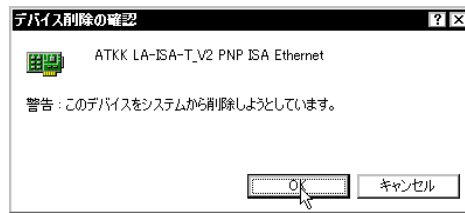


図 1.6.2 デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

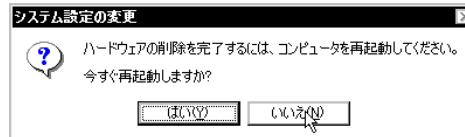


図 1.6.3

(3) 「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 1.6.4 削除後のデバイスマネージャ

(4) Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、PC 拡張スロットから本製品を取り外してください。

(5) 次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

1.7 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) 「1.6 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

(2) 「1.3 ドライバーの新規インストール」の手順を参考にして、本製品のドライバーをインストールします。

2 ドライバーのトラブル

ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品を拡張スロットに取り付けた状態で行ってください。

注意

2.1 本製品を認識しない

「1.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 1 正常にインストールできない
- 2 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 3 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいつてしまった
- 4 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- 5 「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」が2 つ以上ある



「2」や「3」のような障害は、ドライバーインストール中に行われる netapi.dll などの Windows98 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。

- (1) 不正にインストールされた「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「1.7 ドライバーの再インストール」の手順に進みます。

2.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」を選択(反転表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します(図 1.4.1 ~ 3)。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

2.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

2.4 本製品を Legacy モードで使う

コンピュータが「Plug & Play に対応していない」とか「原因は不明だがどうしても Plug & Play で動作させることができない」または「意識的に Legacy モードで動作させたい」という場合は、本製品を「Legacy」モードに設定します。本製品を Legacy モードで使用するための手順を説明します。既に「1.3 ドライバーの新規インストール」の手順に従って、Plug & Play モードでドライバーをインストールした後で、Legacy モードに変更したい場合は、まず「1.5 ドライバーの削除」の手順に従い、ドライバーを削除してから以下の手順を実行してください。

1. 空きリソースの確認

Legacy モードで使用する前に、空きリソースを確認します。後の手順で使用しますので記録しておいてください。

- (1) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「システム」アイコンをダブルクリックしてください。
- (2) 「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「コンピュータ」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



図 2.4.1

- (3) 「コンピュータのプロパティ」ダイアログが現れます。「リソースの表示」タブをクリックし、「割り込み要求 (IRQ)」ラジオボタンをクリックしてください。下記の例では、「9」と「10」が空いています。



図 2.4.2

- (4) 「I/Oポートアドレス」ラジオボタンをクリックしてください。下記の例では、「0240 - 025F」、「0300 - 031F」、「0340 - 035F」などが空いています。



図 2.4.3

2. アダプターの設定・CFGISA.EXE を実行する

Legacy モードに設定するには、本製品のドライバーディスクに入っている、アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を実行して、本製品を Legacy モードに設定します。このモードを選択した場合、I/O アドレス、インタラプトの設定も手動で行います。アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」は、Windows98 の「Command prompt only」(または「コマンドプロンプトのみ」)あるいは「Safe mode command prompt only」(または「Safe モード(コマンドプロンプトのみ)」)のモードで実行することができます。

- (1) 本製品をパソコンに取り付けた状態で、「Ctrl」キーを押しながら(コンピュータによっては、「F8」キーを使うものもある)電源をオンにします。
- (2) 起動メニューが表示されたら、「Command prompt only」(または「コマンドプロンプトのみ」)あるいは「Safe mode command prompt only」(または「Safe モード(コマンドプロンプトのみ)」)を選択し、「Enter」キーを押します。
- (3) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、アダプター設定プログラムを起動します。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

C:¥>A:
A:¥>CFGISA

- (4) 以下のような「項目選択」画面が表示されます。本製品のハードウェア設定を変更する場合は、「Lan Adapterの設定変更」を選択します(選択は、カーソルキー「↑」「↓」で行います)。選択を決定するには、「Enter」キーを押します。作業を中止する場合は、「ESC」キーを押してください。メッセージ表示後、プログラムが終了します。

項目を選んで下さい

Lan Adapter の設定変更
ドライバソフトの設定変更
Lan Adapter の自己診断

Plug & Play、Legacy の選択

- (5) 「Legacy」を選択してください。工場出荷時設定では、「Plug & Play」となっています。ここで「Plug & Play」を選択すると、手順(8)に進みます。

ボードのタイプを選択して下さい。

*Legacy
Plug & Play

I/O アドレス、インタラプトの設定

- (6) 数値の先頭の「*」、「!」マークに注意し、他の拡張アダプターの設定と重複しないように、新たなI/Oアドレスを選択してください。また、この設定値は、ドライバーをインストールするときに使用しますので、記録しておいてください。

*本製品の現在の設定値です(工場出荷時設定値は0x300 - 0x31F)。

!現時点において既に、他の拡張アダプターで使用されているアドレスです。本製品ののための新たなI/Oアドレスとして使用できません。

現在の Lan Adapter の設定値
I/O Base address = 0x300 IRQ = A

新たな I/O Base Address を選択して下さい。

* 0x300 - 0x31F
0x320 - 0x33F
0x340 - 0x35F
! 0x360 - 0x37F
0x380 - 0x39F
0x3A0 - 0x3BF

- (7) インタラプトレベルを選択します。先頭の「*」は、本製品の現在の設定値です(Legacyモードにおける工場出荷時設定値はIRQ A)。他の拡張アダプターの設定と重複しないように設定してください。「IRQ A, B...」は「IRQ 10, 11...」を表します。

現在の Lan Adapter の設定値
I/O Base address = 0x300 IRQ = A

インタラプトレベルを選択して下さい。

- * IRQ A
- IRQ B
- IRQ C
- IRQ F

ネットワークメディアの選択

- (8) LA-ISA-25T V2 の場合、接続形態を選択します(LA-ISA-T V2 では表示されません)。デフォルトは「Auto(10Base2/ 10BaseT)」です。

接続形態を選択して下さい。

- * Auto(10Base2/10BaseT)
- 10Base5

回線方式の選択

- (9) 回線方式を選択します。通常のハブに接続するのであれば、「Half Duplex」(工場出荷時設定)を選択してください。**回線方式の変更は、CFGISAのみで実行可能です。**また、LA-ISA-25T V2 で、10BASE2 または 10BASE5 をご使用になる場合、回線方式は無視されます。

回線方式を選択して下さい。

- * Half Duplex
- Full Duplex

- (10) 設定が完了すると、変更前の設定値と変更後の値を画面上に表示します。

ハードウェアリセット

- (11) コンピュータのリセットスイッチを押すか、電源を一旦オフにし、再度オンにしてください。本製品がリセットされ、(1) ~ (9) で施した設定が有効となります。

3. ドライバーのインストール

ドライバーのインストールを行います。インストール時に必要なものについては、「1.2 用意するもの」をご覧ください。

- (1) Windows98 を起動します。
- (2) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。

- (3) 「ネットワーク」ダイアログが現れます。「追加」ボタンをクリックしてください。



図 2.4.4

- (4) 「ネットワークコンポーネントの選択」ダイアログが現れます。「アダプタ」を選択し、「追加」ボタンをクリックしてください。

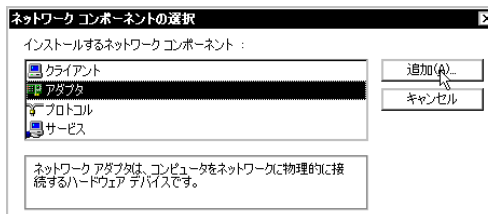


図 2.4.5

- (5) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが現れます。「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

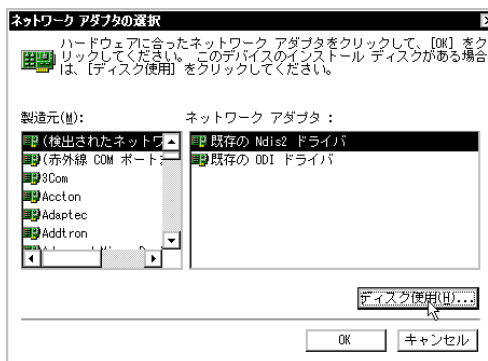


図 2.4.6

- (6) 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログが現れます。ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「A:¥windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

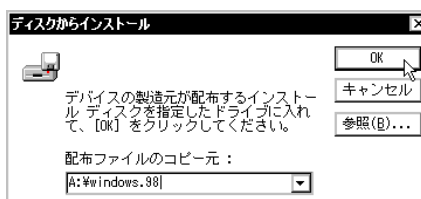


図 2.4.7

- (7) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが現れます。ご使用の製品名に合わせて「モデル」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernet」を選択すると仮定します。

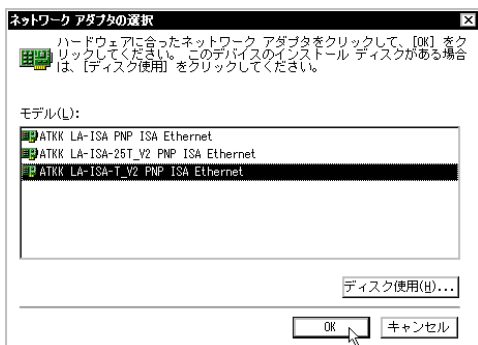


図 2.4.8

- (3) 「ネットワークダイアログ」の「OK」ボタンをクリックしてください。
- (4) ファイルのコピーが開始されます。「1.3 ドライバの新規インストール」の手順を参考に、本製品のドライバーをインストールします。
- (5) 次のダイアログが表示されるまで待ちます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します。

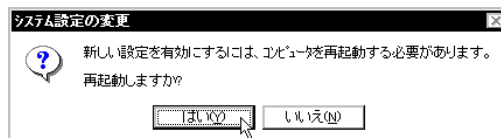


図 2.4.11

- (8) 「ネットワーク」ダイアログに戻るまで待ち、「現在のネットワークコンポーネント」に本製品のドライバーが表示されていることを確認します。(図 2.4.9 参照)

4. リソースの確認

- (1) 本製品のドライバーを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



図 2.4.9

- (2) 「ATKK LA-ISA-T V2 PNP ISA Ethernetのプロパティ」ダイアログが現れます。「リソース」タブをクリックし、「設定の種類」から「現在の設定」を選択して、「割り込み要求 (IRQ)」、「I/Oポートアドレス」を、先ほどアダプター設定プログラム (CFGISA.EXE) で設定した値にしてください。「OK」ボタンをクリックしてください。

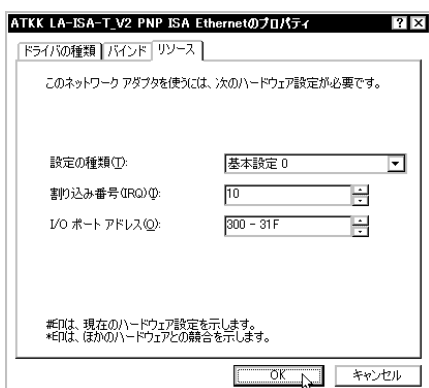


図 2.4.10

3 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

3.1 LINK LED は点灯していますか?

本製品が、正しくネットワークに接続されていることを確認してください。

10BASE-T で接続している場合

LINK LED は、ハブ (またはスイッチ) と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LED は、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しい UTP ケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブの機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート (カスケードポート) を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません (通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルが不良ではありませんか? ケーブルの不良は外観からは判断しにくいので、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

10BASE2 で接続している場合

- T字コネクタと10BASE2ケーブル(シンワイヤ同軸ケーブル)で正しく接続されていることを確認してください。

10BASE5 で接続している場合

- AUK(トランシーバ)ケーブルでトランシーバに正しく接続されていることを確認してください。

3.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

10BASE-T で接続している場合

- UTPケーブルの長さは正しいですか？ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか？10BASE-Tでは「**カテゴリー3**」以上のUTPケーブルを使用しなくてはなりません。
- UTPケーブルが不良ではありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

10BASE2 で接続している場合

- 10BASE2ケーブル(シンワイヤ同軸ケーブル)の長さは正しいですか？ケーブルセグメントは、最長185mです。

10BASE5 で接続している場合

- AUK(トランシーバ)ケーブルの長さは正しいですか？ケーブルは最長50mです。



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。
Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1998年07月23日 Rev.A 初版